

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	関市立倉知小学校		
実 施 期 間	平成26年10月31日（金）～11月26日（水）		
実 施 概 要	① 学習発表会（1・2年生10月31日、5・6年生、のぞみ・ひびき学級11月13日、3・4年生11月26日） ② 倉知ふれあい文化祭（全校11月8日、9日） ③ 校内音楽集会での倉知太鼓・合唱発表（4年生11月5日） ④ 関市連合音楽会での倉知太鼓・合唱発表（4年生11月14日） ⑤ 関市立緑ヶ丘中学校区 通学路クリーンアップ（全校11月7日） ⑥ あいさつ運動の展開（全校11月1日～11月26日）		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	の べ 約 7 5 0 人	計 の べ 約 8 1 0 人
	地 域 関 係 者	の べ 約 6 0 人	
実 施 状 況	①学習発表会 各学年（学級）が生活科、社会科、総合的な学習の時間を中心とし、他教科と関連した学習の成果を生かし、家族・地域の自然や産業・文化、見学先での体験を基に、遊び体験・作品展示・寸劇と説明などの表現方法を工夫し、同級生や異学年、保護者や地域の方々に発表した。各学年・学級のテーマと主な内容は次のようである。 ○1年：「みんないっしょに」（10月31日） 家族大好き、私たちの手作りおもちゃで一緒に遊ぼうをテーマに、自分たちで考えたおもちゃを使っての遊び方を発表。 ○2年：「もっと なかよし まちたんけん」（10月31日） みんなで探検した卵屋さん、豆腐工場、刃物工場のみなさんの工夫や努力を発表。 ○3年：「関市の農業 キウイと大豆の工夫」（11月26日） 社会見学で見聞きした洞戸地区のキウイ農家の方々の仕事についての苦労や考えをまとめたり、自分たちが育ててきた大豆の歴史や様々な加工品について調べたりしたことを発表。 ○4年：「福祉 ふだんのくらしをしあわせに」（11月26日） 2日間の福祉施設訪問での経験を基に、みんなに優しい暮らしについて学んだことを発表。発表会当日は、施設利用者のみなさんも参観にいらしてくださり、子どもたちの励みになった。 ○5年：「身近な川の環境学習」（11月13日） 小瀬鵜飼見学時の長良川・県百年公園前の津保川で行ったカワゲラウォッチングでの経験や、インターネットでの調べ活動を発表。 ○6年：「伝統文化」（11月13日） 社会科で学んできた日本の歴史や、修学旅行先の京都・奈良での体験や学んだ内容を通して、自分たちが住んでいる郷土・関についての再発見を発表。 のぞみ・ひびき学級：「おいしいものヒミツ」（11月13日） 自分たちで育ててきたジャガイモとさつまいもの成長の様子や、調理した過程を発表。 P T A 学級委員会では、各学級の取組を参観した保護者等の感想を記入する“メッセージカード”を準備していただいた。多数の感想が寄せられ、子どもたちへの励みとなった。		

	<p>②倉知ふれあい文化祭（地域の文化祭）作品展示（11月8日、9日） 春先から5年生が育ててきた大菊や、児童の作品（39点）を展示し、保護者や地域の方々に鑑賞していただいた。</p> <p>③校内音楽集会での倉知太鼓・合唱披露（4年生 11月4日） 地域の倉知祭保存会の方々から、地域の伝統芸能である「倉知太鼓」の太鼓や笛の演奏について指導を受けた4年生が、全校児童と4年生保護者40名余りの前でその演奏と合唱を披露した。</p> <p>④関市小中連合音楽会（4年生 11月14日） 関市小中連合音楽会で「倉知太鼓」と合唱曲「青空へのぼろう」を披露した。</p> <p>⑤通学路クリーンアップ（全校 11月7日） 緑ヶ丘中学校と校区の3小学校の生徒会・児童会が連携し、通学路のクリーンアップ活動を行った。通学路におけるごみ拾いを行いつつ、合わせて地域の方々への積極的なあいさつを行った。</p> <p>⑥あいさつ運動の展開（全校 11月） 「一人でも多くの子」「一人でも多くの地域の方々」への挨拶を通して、さらに「気持ちを込めたあいさつ」へと、児童会執行部が中心となり、あいさつの質を高め、お互いに気持ちの良いあいさつの定着へ向けた取り組みを行った。</p>
<p>成果及び課題</p>	<p>成果： <ul style="list-style-type: none"> ・これまで、課題意識や問題意識をもつことなく過ごしてきた児童を取り巻く上記①のような校区の産業や関連施設、歴史への興味・関心が高まった。また、それらに携わる人々の苦労や工夫、願いについて、気付いたり考えたりすることができた。 ・学んできたことをより効果的に伝えようとする表現方法の在り方（掲示物の作成、話し方をはじめとした表現力）に創意工夫が見られた。 ・保護者をはじめとした多数の観覧者があり、発表を見ていただいたり褒めていただいたりすることで、児童の自信を高めることにつながった。（学習発表会に出席された保護者や地域の皆様から、「子どもの発表を見聞きして、初めて知ったことがたくさんあった」との声が寄せられた。） </p> <p>課題： <ul style="list-style-type: none"> ・①の学習発表会をはじめとした上記の取り組みについて、教科や行事（体験・見学活動や修学旅行等）を見通した取り組みを校内で確実に引き継いでいくことが肝要である。 ・都市化やそれに伴う人口移動によって、地域の中で受け継がれてきた文化が次第に衰退しつつある。倉知地区の祭り囃子である「倉知太鼓」のリズムも、実際の祭りのときではなく、学校の運動会や4年生の音楽集会で体験することも少なくない。今後、地域の伝統文化を受け継ぐ活動を続けて行きたいと考える。 </p>